

今年もはじまる東京国際声楽コンクール

田辺とおる（審査員・事務局長）

東京国際声楽コンクールは、高校・大学・一般の3部門に141人を迎えて開催された2009年の第1回以来、10年の歴史をきざみ、昨年は14部門に815エントリー（アンサンブル部門は団体数で計算）を数えました。部門の内訳は以下の通りです。

高校1/2年生・高校3/卒業生・高校アンサンブル・大学・新進声楽家・一般声楽家・歌曲・オペレッタ・ミュージカル・重唱・アンサンブル・愛好者Y（40歳以下）/A（60歳以下）/B（61歳以上）

細かい統計は公式サイトでご覧いただけますが、通過率の概要をご紹介します。地区大会通過（准本選入選）率は、愛好者以外の全部門平均で68%、愛好者全部門平均が83%、准本選通過（入選）率は、愛好者以外が37%、愛好者が65%です。第一次予選にあたる地区大会は比較的通しやすく、二次にあたる本選から本選に駒を進めるハードルが高いといえるでしょう。

◆ ◆ ◆
第二期の幕開けともいべき11回目を迎えて、本年はいくつかの新機軸を打ち出しました。

◆ ◆ ◆
【グランプリ部門の創設】一般声楽部門を格上げして、グランプリ部門といたします。NPO法人イエロー・エンジェル様の御協賛をたまわり、1位賞金は50万円、2位以下も増額できました。文字通りコンクール中の最高部門と位置付け、年齢制限も撤廃します。当コンクールの頂点を示す「誰でも挑戦できるけど、一番ハードルの高い部門」になりました。

◆ ◆ ◆
【ミュージカル部門の拡充】オペレッタ部門に併設する形で第6回に始まったミュージカル部門は急速に参加者が増え、

第9回からは独立した部門となりました。昨年の第10回では参加総数1000人の大台にのり、高校3/卒（129人）・大学（127）・高校1/2（122）部門に次いで14部門中4位の参加者を数えました。クラシック音楽を対象とする「声楽」コンクールの中でミュージカル部門が育ってきたことは、音楽劇という共通項をもつ両分野の交流という点からみて、まことに喜ばしいと感じます。声楽畑の受験生や審査員にとっては、エネルギーにあふれたミュージカル受験生のパフォーマンスが刺激になり、ミュージカル畑にとっては、正統的に美しい声で歌うことを再認識する場になりました。

◆ ◆ ◆
そこで本年の准本選・本選についてはこの部門のみ単体で開催し、審査委員長など役員審査員以外の全員を、ミュージカルの専門家に依頼いたしました。

◆ ◆ ◆
【声楽愛好者部門の拡充】愛好者の各部門は、シビアな競争よりも「アマチュアが楽しく競える舞台」を目指しています。しかしここ数年は参加者が増え、本選の時間的制約などの点から、他社のコンクールよりも「東京国際は受かりづらい」という声が聞かれていました。コンクールがレベルアップを期すことは当然ですが、愛好者部門に限れば「楽しさ」への配慮も欠かせません。そこで本年は日程を増やし、さらに都市部の大きな地区大会において審査員チームを二組に分けて、愛好者を多く指導している教室の先生なども加わっていただきます。

◆ ◆ ◆
【オメガ部門！】声楽愛好者B部門の年齢の線引きを改訂します。従来61歳以上は一つの部門でしたが、シニア世代の活躍があまりにも輝かしいところから、B部門は61〜73歳とし、74歳以上を「声楽愛好者オメガ部門」として新設します。「C」

と表記される、西洋文明の故郷ギリシャのアルファベット最後の文字。究極の存在という意味をこめて高級時計、車種、アニメやゲームのキャラクターなどに多用されるこの一字を、審査員一同にも深い感銘を与えてくださる元気な74歳以上の皆さんに、敬意を表して贈りたいと思います。歴代最高齢は89歳。90歳代の受験者がいつ現れるか、楽しみにしています。

◆ ◆ ◆
また、愛好者B部門は本年より男女を分けました。実は全部門を通じて圧倒的に男性参加者が多いのが、この部門です。賞も増やします。アンチエイジング賞、熱演賞などは1〜5位の入賞とは別に、特徴的な演奏に授与します。B部門、オメガ部門ともに、ますます元気なシニア世代に勇気と生きがいを御提供する部門として育成したいと思えます。

◆ ◆ ◆
【重唱・アンサンブル部門の参加費値下げ】合唱界には長い歴史を誇るコンクールが存在するために、「合唱コンクールではない声楽コンクールで声を競う」という当コンクールの理念が、アンサンブル部門の対象団体になかなか浸透しません。そこで参加料を高校生アンサンブル部門と同額に値下げしました。

◆ ◆ ◆
また声楽専攻の方は独唱で競う気持ちが大いようで、重唱も大学やオペラ研修所などで広く扱われているのに、参加者が伸びません。ぜひ、多くの研究機関で勉強の延長として、コンクール挑戦を促してほしいと願います。

◆ ◆ ◆
11年目の東京国際声楽コンクール。今年はどうな出会いがあり、誰が栄冠を手にするでしょうか。楽しみなシーズン到来です！



第11回東京国際声楽コンクール

The 11th Tokyo International Vocal Music Competition

- 部門 グランプリ（優勝賞金50万円）、高校生、大学生、新進声楽家、声楽愛好者、オペレッタ、ミュージカル、歌曲、重唱、高校生アンサンブル、アンサンブル
- 地区大会 【北海道】7/14【岩手】8/12【宮城】8/4【山形】8/8【埼玉】8/11【東京】6/25、7/23、7/27、7/28、8/3【神奈川】7/17、8/5【新潟】8/7【石川】7/29【長野】7/30【静岡】7/21【愛知】6/29、8/10【京都】7/22【大阪】7/18、8/6【兵庫】6/30【岡山】7/31【広島】7/26【香川】7/20【福岡】7/15【熊本】7/25

- 准本選 【東日本】8/28～8/30、9/13～9/17
【西日本】8/26、8/27、9/6～9/8
- 本選 9/22～9/24、10/16～10/19
- お問合せ先
〒116-0002 東京都荒川区荒川3-74-6-301
一般社団法人 東京国際芸術協会
TEL:03-6806-7108 FAX:03-3806-8555
<http://www.tiaa-jp.com/tivmc/>



■たなべ・とおる
20年に渡るドイツのオペラ歌手活動から帰国し元名古屋芸術大学・名古屋音楽大学客員教授、元国立音楽大学講師、東京国際声楽コンクール審査員・事務局長。